

# 未来へ語り継ごう 平和の大切さ

## 被爆地への平和派遣

平和の尊さについての知識を深め、平和への意識を高めていただくため、次代を担う子どもたちと保護者(7組14名)を、広島と長崎へ隔年で派遣しています。



今年は、8月5日～7日に広島を訪れ、原爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加したほか、平和記念資料館の見学や碑めぐりを行い、被爆者の体験を聞きました。

### 今年広島へ派遣された皆さん

- ▶有坂葉さん、玲志さん(西戸山小6年)
- ▶小林香さん、絢さん(四谷第六小4年)
- ▶鈴木薫さん、康介さん(四谷中2年)
- ▶高木志津さん、綾さん(西早稲田中1年)
- ▶田村麻美さん、蓮さん(大久保小6年)
- ▶飛田裕美子さん、直哉さん(戸塚第一小4年)
- ▶渡邊朱磨子さん、皐月さん(落合第四小5年)

## 平和派遣報告会

今年の平和派遣に参加した皆さんが、広島で体験したことを発表します。発表後には、早稲田少年少女合唱団による、平和をテーマにしたコンサートがあります。

【日時】10月4日(日)午後1時30分～4時30分

【共催】新宿区平和派遣の会

【会場・申込み】当日直接、若松地域センター(若松町12-6)へ。未就学児も入場できます。



【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505・FAX(3209)9947へ。

## 伝えてください あなたの戦争体験

区では、「広報しんじゆく」5月25日号で戦争体験記を募集しました。今回は、この募集に寄せられた文集「私たちの下落合～落合の昔を語る集い」(平成18年8月1日に第一版を発行。A4版・128ページ)の一部を紹介します。



この文集では、さまざまな方の体験記や、これまで心に埋もれていた思いを掲載しています。詳しくは、落合の昔を語る集い代表・堀尾 ☎(3954)1366へお問い合わせください。

【区の担当課】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505

「下落合と私」より「学童疎開」(下落合二丁目在住・平林邦子)

国民学校一年生になった時、あの時勢にどういわけだったか学校で給食があった。この給食のご飯は、ふつうの家のようにお釜で炊くのではなく、蒸気で蒸すから美味しいのだという先生の説明を覚えている。学校のプールの回りで飼育していたアヒルの肉を炊き込んだご飯や、サケ缶の骨がたくさん入った混ぜご飯など、とてもおいしかった給食が忘れられない。その後時勢が悪化し、警戒警報のサイレンでコッペパンをそそくさといいただき、駆け足

で家に帰ったこと、サンダル下駄は駆け出せないから履いてはいけなかったことなど。五月の空襲で目白通りもかなり焼け、そのとき私たち隣組はぬれた手ぬぐいで鼻を覆い、警防団員の号令で綱につかまりながら薬王院の通称「森」へ避難した。

小学校二年生になって私も学童疎開に行くことになった。群馬県佐波郡芝根村。ここは毎年夏に赤痢の発生するところであったそうだが、そうとは知らず一年生の三人(順子ちゃん、弘子ちゃん、うえぐり君)、二年生三人(京子ちゃん、至朗ちゃん、私)のほか数名の上級生達は、教頭先生や寮母さん達と一緒に、朝早く親達に見送られて出発した。途中警戒警報で、列車の窓から降りて避難したりもした。伊勢崎、前橋と過ぎ、目的のお寺(常楽寺)は大きな利根川の堤防の近くにあった。利根川の流れは速く、互い違いに組まれている木の橋は、大雨のたびに流されてしまう簡易な怖い橋だった。境内には、わらで作った簡易トイレがずらっと並んでおり、不思議な光景であった。本堂での寝泊り、朝早くの境内の掃除、その後の味噌汁のおいしかったことなどが記憶に残っている。

そのうち、前年の十九年秋に茨城県の龍泉院(五年生)や西念寺(三、四年生)に疎開していた生徒達が、二十年に入ってみな群馬に合流し、それぞれお寺に散らばった。

私は高橋村長さんの家に移った。高橋寮では、春には矢車草が、夏にはコスモスの花があたり一面に咲いた。大きな桑の木が生い茂り、その実を食べて口のまわりが真っ青になって叱られたりもした。摘み草にも行った。土手に沿ってどんどんいくと数本の松があり、これを「三本松」と呼んでいた。ときどき「三本松に行こう!」とこっそり抜け出したりもした。寮で自由な時間には、食べたいものの絵をかいた。おまんじゅう、ホットケーキ、オムレツなどの絵を描いて楽しんだ。六年生の加茂さんはとても上手だった。同じ六年生の谷平さんが作詞作曲した歌「おはよう、おはよう、朝からよい天気、くわもシャベルもみな五つ、もんぺ、はちまき、しっかりど……」はみんなよく歌ったので、今でもメロディーが浮かんでくる。

とうとう夏に赤痢が発生し、私も隔離病舎に移された。幼いながらに死を意識した。リヤカーで運ばれたときの、真っ青な空と畑から漂ってきた焚き火の匂いが忘れられない。数名の下級生が帰らぬ人となり、私も母が看病のため東京から呼ばれなければ助からなかったかもしれない。終戦前夜は前橋付近が大きな被害を受け、寮の三階の蚕部屋で夜空に上がる火の粉を見ながら一夜を過ごした。秋も深まった頃、鳩の鳴き声を耳にしながら、迎えに来てくれた父の背におんぶされ東京に戻った。

**リサイクル講座**  
区内在住・在勤の方が対象です。  
①余り布からA4が入るバッグ作り  
【日時・定員】9月17日(木)午後1時～4時(15名)  
【費用】600円(資料・材料代)  
【持ち物】厚地の木綿の古布

②ネクタイからセミロングベスト作り  
【日時・定員】9月25日(金)午後1時～4時、10月8日(木)午前10時～午後4時、全2回(10名)  
【費用】千円(資料・材料代)  
【持ち物】ネクタイ(ほどいてアイロンをかける)3～4本、和服地などの古布(表布と裏布)各90cm×150cmほか  
……………(以下共通)……………  
【共催】新宿環境リサイクル活動

## 神田川ファンクラブ 新規会員を募集

●神田川のことをもっと知ろう

神田川の生き物や水質の調査、神田川に関する施設の見学などを通して、知識や関心を深めます。

【会場】戸塚地域センター(高田馬場2-18-1)「神田川ふれあいコーナー」ほか  
【対象】区内在住・在学の小学4～6年生と保護者、30名程度  
【27年度の活動予定】▶9月…結成会(5日午前9時30分から戸塚地域センター「神田川ふれあいコーナー」で)、▶11月…水源の調査



(井の頭池)の見学、▶12月…神田川の地場産業「染め」の見学、▶28年1月…東京都水道歴史館の見学  
※活動は土曜日の午前中を予定しています。  
【申込み】往復はがきに3面記載例のほか学年を記入し、8月27日(必着)までに神田川ファンクラブ事務局(〒160-8484歌舞伎町1-4-1、本庁舎7階、みどり公園課みどりの係内) ☎(5273)3924へ。応募者多数の場合は抽選。

## ご協力ありがとうございました

### 緑の募金

区内の募金総額は、15万7,692円でした。この募金は、東京緑化推進委員会で一括集計後、森林の整備・地域の緑化推進・普及啓発などの事業に役立てます。  
【問合せ】みどり公園課みどりの係(本庁舎7階) ☎(5273)3924・FAX(3209)5595へ。

### 2015年 ネパール地震救援金

区民の皆さんからお預かりした救援金(総額38万8,960円)を、被災地の救援活動に役立てるため、日本赤十字社へ送金しました。  
【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505・FAX(3209)9947へ。

## 区の調査にご協力ください

### 区民意識調査

●9月1日(火)に調査票を発送します  
区の重要課題への意識や意向を伺い、区政運営の基礎資料とするため、毎年実施しています。住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の方2,500名に調査票をお送りします。無記名でご回答いただき、統計的に処理します。調査結果の概要は「広報しんじゆく」等でお知らせします。  
【問合せ】広聴担当課広聴係(本庁舎3階) ☎(5273)4065・FAX(5272)5500へ。

### みどりの実態調査

区内のみどりの状況を把握するため、5年ごとに実施しています。樹木・樹林・生垣・壁面緑化等の現地調査で、区が委託した調査員がお伺いすることがあります。  
※調査員は区が発行する身分証明書を携帯し、腕章を着用しています。  
【調査期間】10月下旬まで  
【問合せ】みどり公園課みどりの係(本庁舎7階) ☎(5273)3924・FAX(3209)5595へ。

**マンション管理組合交流会**  
【日時】9月26日(土)午後1時30分～4時30分  
【会場】牛込単筒地域センター(単筒町15)  
【対象】区内分譲マンションの管理組合役員、区分所有者  
【内容】▼基調講演「マンション住民の高齢化問題」(講師は三井一征・マンション管理士)、▼分科会(テーマごとに新宿区のマンション管理相談員が参加)：管理組合運営の動向、新役員さん大歓迎/マンションの高齢化に向けた取り組み/耐震改修に向けた取り組み/長期修繕計画と大規模修繕工事  
【申込み】電話で9月4日(金)までに住宅課居住支援係(本庁舎7階) ☎(5273)3567へ。先着40名各テーマ10名。